

10月 学校だより

尼崎市立成徳小学校
令和3年10月1日（金）

耳を澄ます

校長 島多 峰史



小学校2年生の音楽の授業で学習する歌「虫の声」は、今から111年前に発表された歌で、日本で長い間、童謡として親しまれてきました。自然に生息している「秋の虫」は、気温が高い昼間はあまり鳴かないこともありますが、9月に校長室前で紹介したスズムシは、気温が比較的低い時間帯に鳴き声を聞かせてくれました。スズムシを手なづけようとした児童が、廊下を通るときにスズムシに「鳴け」「鳴きやめ」と命令をしていました。昆虫は他の動物と異なり、音の聞きわけができる場所を脚に備えておりますが、水族館のイルカのように、果たしてヒトの言うことを聞き分けてくれたのでしょうか。

童謡「ちいさい秋見つけた」は、児童・大人を問わず、多くの方が聞いたことがあると存じますが、1番の歌詞にある「だれかさんが見つけた小さい秋は何か」と児童に質問すると、答えられる人が少ないかもしれません。答え合わせを10月4日（月）の朝会のときに行いますが、ヒントとして「ある生き物の鳴き声」ということだけ、先に述べておきます。

9月までに予定されていた行事が延期になり、結果的には10月～11月に体育大会、自然学校（1日単位）、修学旅行、音楽会の準備等、多くのことがこの期間に凝縮されることになりました。各行事に向けて、限られた時間で練習や準備をしなければなりません。そこで、それぞれの練習のときは、虫の声のように「そう言えば、聞こえていたかもしれない」と聞き流すのではなく、「より一層の集中力をもって、先生の話をしっかり聞く（聴く）ように」との声かけをしていきます。さらに、音楽会に向けての練習では、先生の話だけでなく、周囲の音もよく聴く必要があります。

生き物の声に「耳を澄ます」ことから話を始めましたが、日頃から成徳小学校では、「命を大切に活動」に力を入れております。教室や廊下で、生き物を飼育しているクラスもあります。毎年、9月20日～26日は動物愛護週間と定められており、校長室前で小動物の紹介をしました。成徳小のご家庭の中には保護猫を飼われるところがあると伺っておりますが、成徳小で育った子どもたちが、いつまでも命を大切にすることを続けると信じております。



〈10月の行事予定〉



月	火	水	木	金
4 朝会 クラブ活動	5 こころの教育講演会（5・6年生）	6 遊遊タイム	7 出前授業（4年）	8 就学時健診
11 委員会活動	12	13	14	15
18	19	20 環境学習（3年）	21	22 体育大会（午前中開催）
25 体育大会（予備日①）（クラブ活動）	26 体育大会（予備日②）	27 出前授業（4年）	28	29

〈11月の主な行事〉 8日（月）・9日（火）6年生 修学旅行



〈お知らせとお願い〉

・こころの教育講演会 5日（火）

前尼崎市教育委員の仲島正教先生をお迎えし、こころの教育講演会を実施します。例年であれば、保護者の方にもご参加願っている講演会ですが、今年度は、5・6年生児童のみでお話を聞きます。

テーマ 「あーよかったな あなたがいて ～優しさという温かい貯金～」

・就学時健康診断 8日（金）

来年度の一年生のための就学時健康診断を実施します。在校生の下校時刻は、13時15分頃になります。

・体育大会 22日（金） 予備日：25日（月）26日（火）

感染症拡大防止対策のため、午前中開催とします。給食を食べ、午後の授業終了後、下校となります。詳しくは、後日、配付する手紙をご確認ください。

※21日（木）は、体育大会準備のため、1～4年生は13時30分頃の下校となります。

なお、21日が雨天時は、通常授業で下校します。